

第38回 独立行政法人国立印刷局契約監視委員会（審議概要）

開催日及び場所	令和5年12月15日（金） 国立印刷局本局大会議室
出席委員	<p>委員長 栗田 誠（白鷗大学法学部教授） 委員 黒川 行治（一般財団法人産業経理協会会長、慶應義塾大学名誉教授） 委員 村瀬 均（岡崎村瀬法律事務所弁護士） 委員 福島 晃（独立行政法人国立印刷局監事） 委員 三橋 浩（独立行政法人国立印刷局監事）</p>
審議対象	<p>令和5年度上半期契約の点検 令和5年度上半期に契約締結した案件のうち、新規の競争性のない随意契約の点検（7件／うち個別審議案件7件）及び2か年度連続して応札者又は応募者が1者しかない契約の点検（31件／うち個別審議案件1件）（全38件／うち個別審議案件8件） 別紙1のとおり</p>
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙2のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	いずれの案件も了承され、意見の具申又は勧告はなかった。

個別に審議した契約案件（8件）	
【新規の競争性のない随意契約案件】	
(1)	「識別性に関する技術調査」
(2)	「小型番号器」
(3)	「製紙原材料 B」
(4)	「ナフトールルビン F6B 外 2 件」
(5)	「ピグメントイエロー-G 外（顔料）」
(6)	「酸無水物リカシッド MH-T」
(7)	「ポリエチレンワックスエマルション」
【2 か年度連続一者応札・応募案件】	
(8)	「東京工場第 1 号粉体配合装置自動配合設備保守点検作業」

意見・質問	回 答
1 令和5年度上半期契約の点検	
(1)「識別性に関する技術調査」 ○ 契約金額は価格交渉を実施した上での金額なのか。	○ 契約金額は価格交渉を2回実施した結果である。
(2)「小型番号器」 ○ 製造業者は海外メーカーか。また、印刷局の特注品なのか。	○ ドイツのメーカーが製造し、輸入している。また、特別な仕様ではなく、海外では使用実績があることを確認している。
(3)～(7)「製紙原材料B」外4件 ○ 技術審査合格者は1者に限定しているのか。	○ 技術審査合格者は1者に限定していない。過去には合格者が複数存在する案件もあったが、製造ラインの確保が困難等の理由により撤退し、1者となった案件もある。
(8)「東京工場第1号粉体配合装置自動配合設備保守点検作業」 ○ 年間1回の点検となっているが、配合した材料の色調を担保できるのか。	○ 配合した材料の色調については、配合の都度色調の見本照合等の確認を行っている。また、日々の配合等作業において、インキの色味に差異が生じた場合、速やかに色調調整ができる体制を整えている。